2025 年 10 月 10 日

一般社団法人日本損害保険協会　中部支部

「盗難防止の日」に東山動植物園で自動車盗難防止イベントを実施

～　自動車盗難防止機器を動物になぞらえて展示、動物防犯対策クイズも　～

日本損害保険協会中部支部委員会（委員長：渡辺　一奈・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員）では、10 月 7 日（火）「盗難防止の日」に東山動植物公園において愛知県警察と連携した自動車盗難防止啓発イベントを実施しました。

愛知県は、自動車盗難件数が全国ワースト 1 （2025 年 1～8 月で 790 件）であることから、日本損害保険協会が制定する 10 月 7 日（トーナン）「盗難防止の日」に、愛知県民に親しみ深い東山動植物園に協力いただき、自動車盗難防止の啓発ブースを設置しました。

啓発ブースでは、自動車盗難防止機器を動物の生態や特性になぞらえた展示や、子供向けの動物・防犯対策クイズ、「自家用車に盗難対策をしていますか？」というアンケートを行いました。アンケートでは、回答者 46 名のうち、「対策していない」と答えた人が 8 割を超え、その方々にプラスワンの対策として、ハンドルロック・タイヤロックの使用や防犯カメラの設置等を呼びかけました。

また、愛知県警察協力のもと、愛知県警察マスコットのコノハ警部との記念撮影や、パトカーと白バイに乗れるコーナーを設置し、多くの親子連れで賑わいました。

さらに、クイズやアンケートの合間に、当支部で作成している冊子「自動車盗難防止ガイド」や当支部で実施している「ハンドルロック無料貸出」を案内しました。愛知県の自動車盗難の現状を説明することで、多くの方から「自動車盗難対策を行いたい」という声がありました。

当支部では、今後も、愛知県警ほか関係機関と連携し、自動車盗難防止活動を行ってまいります。

自動車盗難啓発活動の様子

コノハ警部との記念撮影の様子

自動車盗難防止機器を動物の生態や特性になぞらえた展示

啓発活動で使用した
チラシとアンケート結果